



DNW-20018 の概要

課題番号 : DNW-20018

課題名 : 小児・AYA 世代の難治性固形がんに対する遺伝子改変 T 細胞輸注療法
療法の探索

主任研究者 (Principal Investigator) :

藤原 弘 (国立大学法人三重大学大学院医学系研究科)

課題番号 DNW-20018 では、細胞輸注による難治性固形がんに対する新たな治療法の創出に取り組んでいる。

- 創薬コンセプト :

現状の固形がんに対する CAR-T 細胞療法が抱える問題点に対する解決を図るため、機能強化型固形がん関連抗原特異的 CAR 遺伝子を導入した健常者由来 T 細胞を用いることにより、広く小児・AYA 世代の難治性固形がん及びトリプルネガティブ乳がんに対して、より強力で安全な治療法を開発する。

- ターゲットプロダクトプロファイル :

小児・AYA 世代の難治性固形がん及びトリプルネガティブ乳がんに対して、QOL を確保しながら無増悪生存期間の延長、治癒をめざす健常者由来 T 細胞療法

- 創薬コンセプトの妥当性を支持するエビデンス :

以下のことが PI らにより明らかにされている。

- 1) PI らが新たに開発した機能強化型固形がん関連抗原特異的 CAR-T 細胞は、従来型 CAR-T 細胞に比べて、小児・AYA 世代に好発する複数の種類の固形がん細胞に対して、*in vitro* 及び *in vivo* で、標的依存的に、より優れた抗腫瘍効果を発揮した。
- 2) 今までの検討では、本 CAR-T 細胞による懸念される作用は認めていない。

- 最終目標 :

機能強化型固形がん関連抗原特異的 CAR-T 細胞の有用性確認

テーマに関するお問い合わせは下記までお寄せください。

Principal investigator へのお問い合わせはご遠慮くださるようお願いいたします。

(問合せ先)

国立研究開発法人日本医療研究開発機構 創薬事業部

E-mail : id3desk@amed.go.jp